

映画「キネマの神様」 作品紹介

STORY

ギャンブル漬けで借金まみれのゴウ（沢田研二）は妻の淑子（宮本信子）と娘の歩（寺島しのぶ）にも見放されたダメ親父。そんな彼にも、たった一つだけ愛してやまないものがあった。それは「映画」――。

行きつけの名画座の館主・テラシン（小林稔侍）とゴウは、かつて撮影所で働く仲間だった。

若き日のゴウ（菅田将暉）は助監督として、映写技師のテラシン（野田洋次郎）をはじめ、時代を代表する名監督やスター女優の園子（北川景子）、また撮影所近くの食堂の娘・淑子（永野芽郁）に囲まれながら夢を追い求め、青春を駆け抜けていた。しかしゴウは初監督作品「キネマの神様」の撮影初日に転落事故で大怪我をし、その作品は幻となってしまふ。

あれから約 50 年。あの日の「キネマの神様」の脚本が出てきたことで、ゴウの中で止まっていた夢が再び動き始める。これは、「映画の神様」を信じ続けた男の人生とともに紡がれる愛と友情、そして家族の物語。

作品概要

タイトル：『キネマの神様』

監督：山田洋次

脚本：山田洋次 朝原雄三

原作：原田マハ「キネマの神様」（文春文庫刊）

出演：沢田研二 菅田将暉

永野芽郁 野田洋次郎 / 北川景子 寺島しのぶ 小林稔侍 宮本信子

主題歌：「うたかた歌」RADWIMPS feat. 菅田将暉（Muzinto Records/EMI）

配給：松竹

©2021 「キネマの神様」製作委員会

公式サイト： <https://movies.shochiku.co.jp/kinema-kamisama/>

公式 Twitter： https://twitter.com/kinema_kamisama

公式 Instagram： https://www.instagram.com/kinema_kamisama/